

公園を悩ませているのは、いたずらばかりではありません。ごみの投棄などマナーの低下も問題になっています。

公園がごみ捨て場に・・・

ごみが散らかった公園。遊びに来た子どもたちはどう思うでしょうか。



(上)お酒の缶・カップや弁当のごみが、食べ散らかされてそのまま放置
(右)明らかに公園内出る量よりも多いごみ。家庭ごみの持ち込みも



盗難バイクも捨てられています

自動車の侵入



自動車にぶつけられたい。当て逃げが多い



ここまでできてしまうと、路上駐車というよりも「園内駐車」

犬のフンを捨てないで



公園や道路で犬のフンを持ち帰らない人が増えています。公園内にフンを放置されると、そこを使う人たちの気分も悪くなるうえ、とても不衛生です。もし、子どもたちが遊ぶ砂場にフンがあったら…。犬のフンは飼い主の責任として必ず持ち帰りましょう。また、犬のフンを公園内のトイレに流す人もいます。これは、トイレがつまる原因になるので絶対にしないでください。

みんなの公園、みんなで守ろう

いたずらの防止には、いたずらのしにくい雰囲気、いたずらのできない環境づくりが必要です。

公園に落書きがあったり、ごみが散らかっていたりすると、警察や住民の監視が行き届いていないと思われるかもしれません。また、いたずらに対する罪悪感が薄れ、ここは何をやってもいいんだという錯覚を生み出します。それらが、悪質ないたずらと呼ばれ、だんだんと犯罪がエスカレートしていくのです。これは、小さな犯罪が大きな犯罪をひきおこす引き金となるという「ブロークンウィンドウズ(割れた窓)理論」といわれています。

発端となる小さないたずらやマナー違反を見逃さないように、地域周辺のたくさんの目で公園を見守っていきましょう。



公園内でのいたずらを目撃したら通報を！！

公園緑地課または
安城警察署(☎76>0110)

公園が悲鳴をあげている!! 許すな悪質ないたずら

最近、公園の施設などに対する悪質ないたずらが急増しています。落書き、破壊行為、放火など、公園の施設を損壊させるこれらの行為は、まぎれもなく犯罪です。

トイレは落書き帳じゃない

トイレは気持ちよく利用したいもの。こんな落書きがしてあるといい気持ちはしません。



これらの落書きを消す費用も、決して安くはありません

トイレが使えない

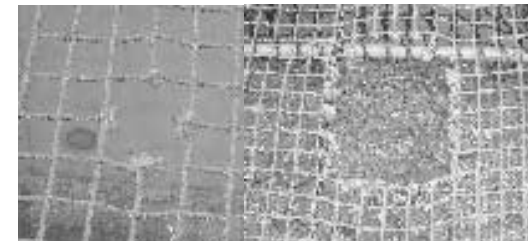
ちょっとトイレに行きたくなくなったとき、駆け込んでみるとそこには……。こんな状態では、使用することはできません。



無残にも割られてしまった便器

遊具・設備にもいたずらが・・・

子どもたちが遊ぶ遊具のネットが切断されています。ケガにつながる可能性もあり、非常に危険



テーブルも焼かれたり傷つけられたり



(上)トイレの中で消火器を噴出
(左)何度も壊されて、使用禁止になったトイレ



(左)放火により焦げた芝生。このようないたずらが大事事につながる恐れもあります



(右)蛇口が盗まれて水が噴き出してしまっている水道